

難民食料支援 NEWS letter ② 2021. 10. 25 号

発行：地域と協同の研究センター

難民食料支援として日本にいる私たちができることを考え語り合う場第2回を開催します。今回はアフガニスタンで起きていることを通して難民とはなにかを学びます。



主催 団体： NPO 法人 名古屋難民支援室
NPO 法人 地域と協同の研究センター
アジア・ボランティア・ネットワーク東海
協力 団体： 生活協同組合コープあいち

「難民食料支援」第2回 学び語り合う会

10月30日（土） 10時～11時30分

学習：アフガニスタンで起きていること

報告：これまでの食料支援から （裏面参照）

語り合い：（聞くだけ参加も OK）お気軽にどうぞ。

会場	生協生活文化会館（名古屋市千種区）	定員 30 名
	豊橋生協会館（豊橋市牟呂町）	定員 20 名
	オンライン	定員 なし

□参加費 無料 □食料支援の食料品・現金の寄付を募ります。

お申し込み・お問い合わせはコチラへ 下の QR コードからもお申し込みいただけます。

（地域と協同の研究センター 平日 10 時～17 時）

電話 052-781-8280 FAX 052-781-8315

e-mail AEL03416@nifty.com <http://www.tiiki-kyodo.net/>

お申し込みの際 お伝えいただくこと

https://docs.google.com/forms/d/1J_UZE0joGHC_ePbYyHQ7FAA8WAXcaTji-OFBD1JQeck/edit

名前・所属（あれば）

参加方法 会場参加（名古屋 ・ 豊橋 ）
オンライン（話しあい参加 ・ 聞くだけ参加）

オンライン参加の方はメールアドレス



<当日のスケジュール> (予定)

- 開会 挨拶 神田すみれさん
- 学び I NPO 名古屋難民支援室 (DAN) 羽田野真帆さんのお話
・ 難民とは ・ DAN の声明紹介 ・ DAN への相談者について紹介
- 学び II ペディ フランシス 先生 (名古屋大学大学院国際開発研究科 国際開発協力専攻 国際開発協力 准教授) のお話
・ 名古屋大学で学びアフガニスタンに帰国して活躍していた 10 人の元留学生 (国家公務員、外務省職員等) でカブールに残った方々のことなど
- 報告 I 寄せられた食料をお届けして NPO 名古屋難民支援室 中川季紀さん
- 報告 II 名城大学『ボランティア論』での報告を通して 研究センター 伊藤小友美
- 語り合い 私たちにできることを考え合いましょう。
- まとめ 閉会挨拶



<今まで私たちが学んだこと>

日本では、出入国管理をする行政機関が難民認定をしており、難民認定率は 0.1 ~ 0.2 % にとどまっています。

NPO 名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民や難民申請者が、法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援しており、年間約 100 名の新規相談と、1,000 件の継続相談があります。

会場・方法はあらためてお知らせします。
地域と協同の研究センターHP・facebook 見てね。

予告

☆ 緊急食料支援

10月30日(土) 学習会会場にて受付

11月25日(木) ~ 12月4日(土) 10時~17時

● 集める食品にはお守りいただきたい条件があります。

- ・ 包装や外装が破損していないもの
- ・ 未開封のもの
- ・ 生鮮食品以外
- ・ 賞味期限が明記されており、かつ 賞味期限が 2 月 1 日以降のもの

● 以下のような食品が特に喜ばれます。

- ・ お米(白米)・パスタ・カップ麺・乾麺
- ・ 調味料(食用油、醤油、砂糖等)
- ・ 缶詰(肉、魚、野菜、くだもの等)
- ・ レトルト食品(カレー・スープ・惣菜等)
- ・ コーヒー、お茶などの嗜好品

「クリスマス前にお届けしたいね。」「寒くなるし毛布などもあるといいね。」「お正月に召し上がってもらいたいものも集めたいね。」と相談中です。

ボランティアさんも募集中。表面の連絡先までご一報ください。



facebook はこちらから

☆ 学び語り合う会第 3 回 1 月 15 日(土) 10 時 ~ 11 時 30 分
テーマ: ビルマ(ミャンマー) で起きていること